

【食品ロスの削減についてのアンケート】

調査期間 R3.10.18 ~ R3.10.31

回答率 81.9% 回答者数 212人

アンケートの趣旨

食品ロス(本来食べられるにもかかわらず捨てられている食品)は、SDGs(持続可能な開発目標)目標12「つくる責任とつかう責任」として取り上げられ、食品を無駄にしていること以外にも、生産・流通の過程で多くの資源・エネルギーが使われていることや、水分を多く含む食品を廃棄物として焼却処理する際に多くのエネルギーが必要となることなどから、その削減は世界共通の課題となっています。

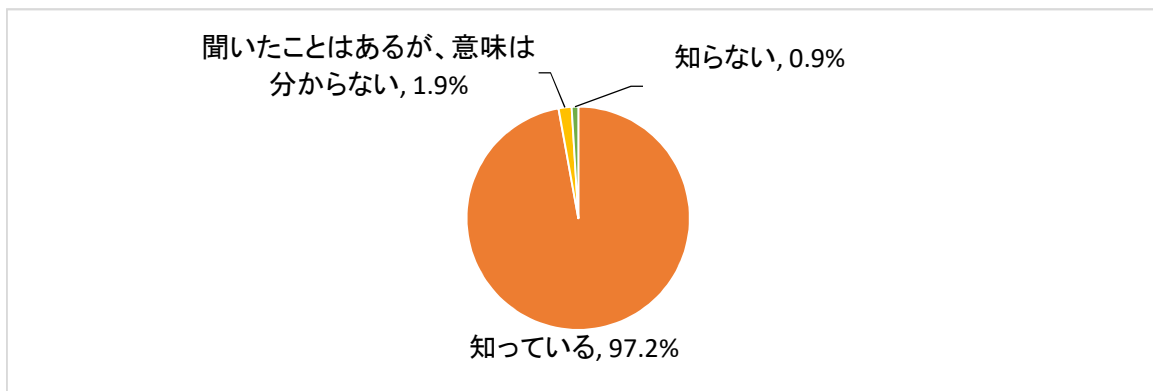
本県では、家庭での食品ロスを減らす生活習慣を環境・身体・家計にかしこい『スマート・フードライフ』と名付け、普及啓発に取り組んできました。

また、今年3月には「香川県食品ロス削減推進計画」を策定し、事業者、消費者、行政等の多様な主体が連携・協力して、食品ロスの削減に向けた取り組みを推進することとしています。

そこで、計画に沿って食品ロスの削減に向けた取り組みを進める際の参考としたいので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

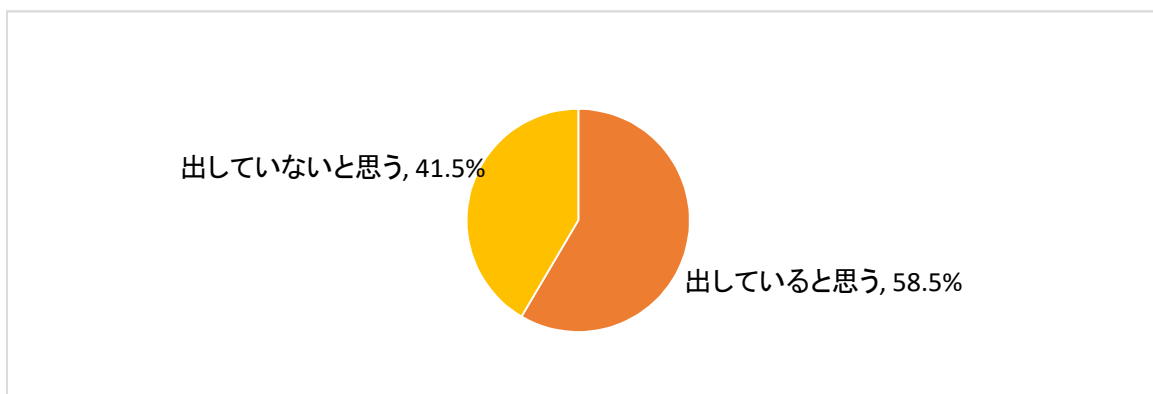
〔問1〕 あなたは「食品ロス」という言葉をご存じですか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	206	97.2%
聞いたことはあるが、意味は分からない	4	1.9%
知らない	2	0.9%
計	212	100.0%



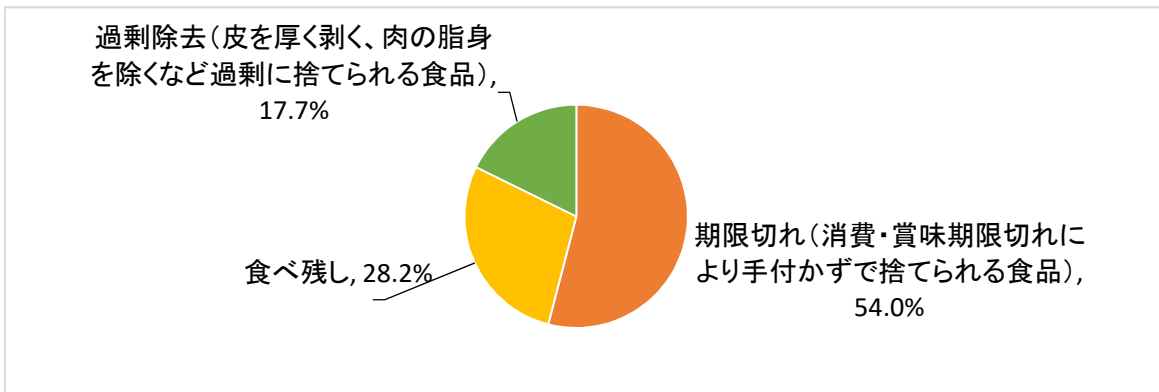
〔問2〕 あなたの世帯では食品ロス（本来食べられるにもかかわらず捨てられている食品）を出していますか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
出していると思う	124	58.5%
出していないと思う	88	41.5%
計	212	100.0%



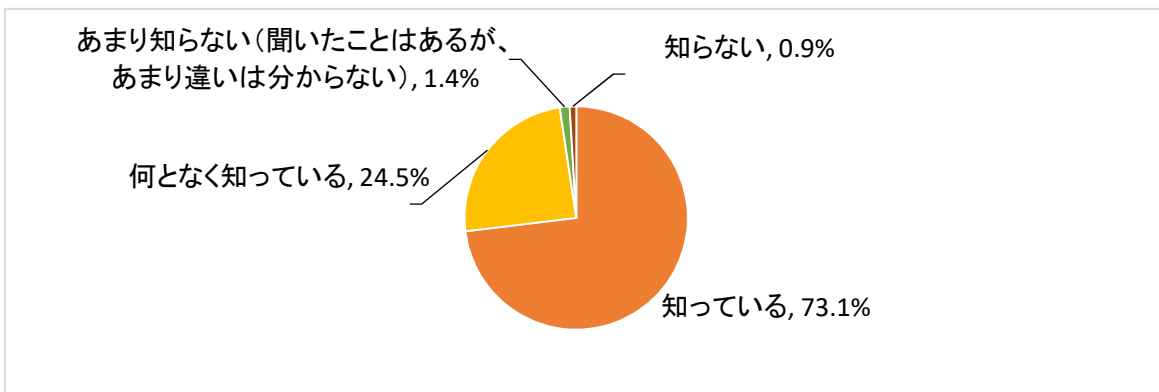
〔問3〕 問2で「出していると思う」と答えた方にお伺いします。家庭から出る食品ロスには、「期限切れ（賞味・消費期限切れにより手付かずで捨てられる食品）」、「食べ残し」、「過剰除去（皮を厚く剥く、肉の脂身を除くなど過剰に捨てられる食品）」の3種類がありますが、あなたがよく出してしまうものは何ですか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
期限切れ(消費・賞味期限切れにより手付かずで捨てられる食品)	67	54.0%
食べ残し	35	28.2%
過剰除去(皮を厚く剥く、肉の脂身を除くなど過剰に捨てられる食品)	22	17.7%
計	124	100.0%



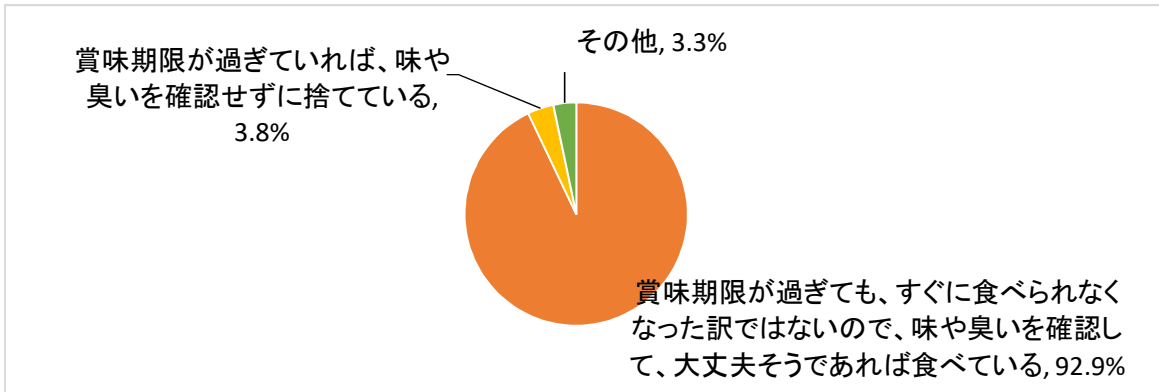
〔問4〕 食品に表示されている「賞味期限」と「消費期限」の違いについてご存じですか。1つだけ選んでください。
 ※賞味期限：おいしく食べることができる期限
 消費期限：安全に食べることができる期限

選択肢	回答者数	構成比
知っている	155	73.1%
何となく知っている	52	24.5%
あまり知らない(聞いたことはあるが、あまり違いは分からない)	3	1.4%
知らない	2	0.9%
計	212	100.0%



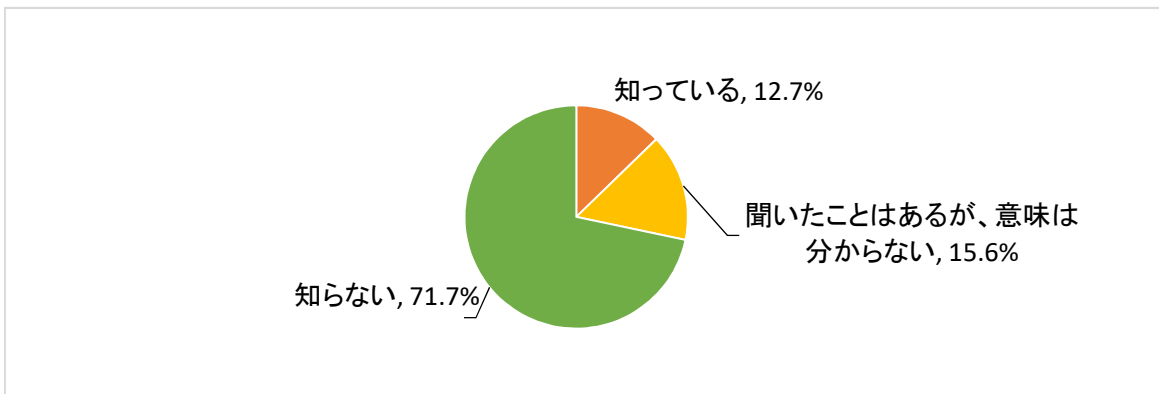
〔問5〕 購入した食品の賞味期限が過ぎた場合、その食品をどうしていますか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
賞味期限が過ぎても、すぐに食べられなくなった訳ではないので、味や臭いを確認して、大丈夫そうであれば食べている	197	92.9%
賞味期限が過ぎていれば、味や臭いを確認せずに捨てている	8	3.8%
その他	7	3.3%
計	212	100.0%



〔問6〕 県では、家庭での食品ロス削減につながる生活習慣を環境・身体・家計にかしこい『スマート・フードライフ』という名称でPRしています。『スマート・フードライフ』という言葉をご存じですか。1つだけ選んでください。

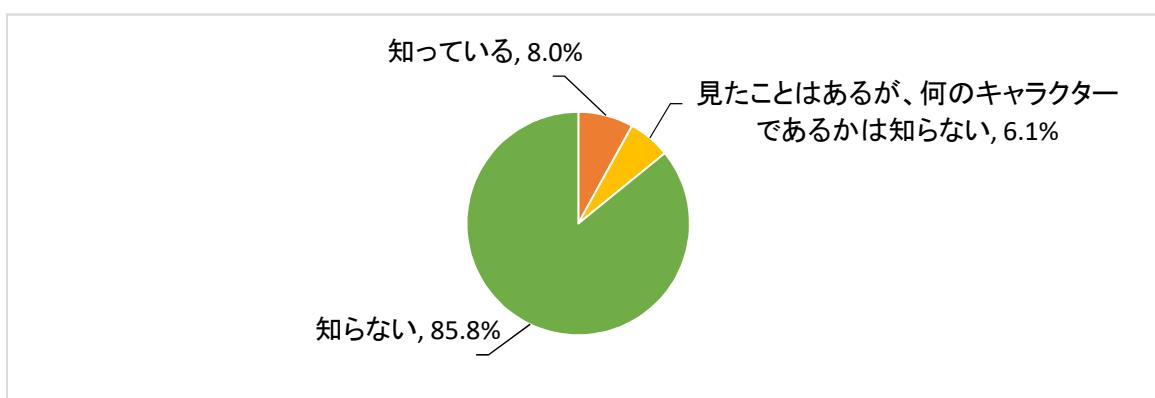
選択肢	回答者数	構成比
知っている	27	12.7%
聞いたことはあるが、意味は分からない	33	15.6%
知らない	152	71.7%
計	212	100.0%



〔問7〕 次のキャラクターはスマート・フードライフの推進キャラクターの『たる』ですが、ご存じですか。1つだけ選んでください。

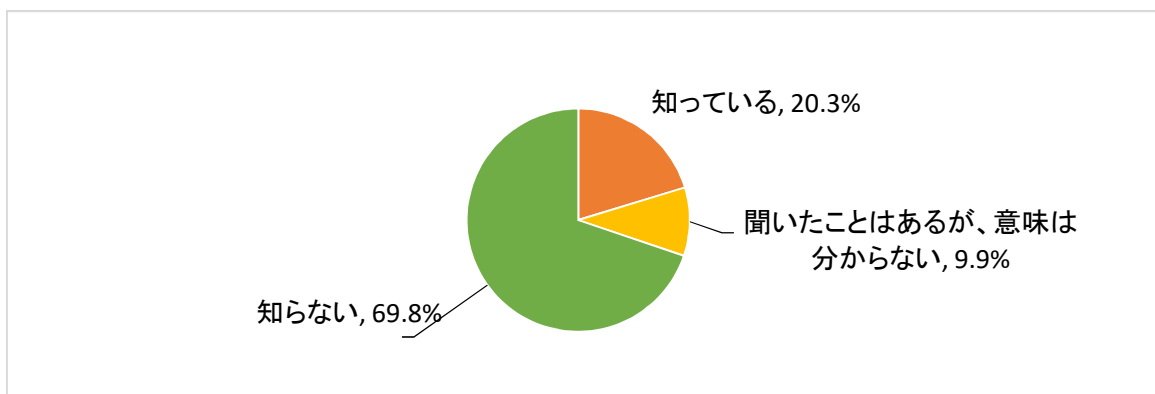


選択肢	回答者数	構成比
知っている	17	8.0%
見たことはあるが、何のキャラクターであるかは知らない	13	6.1%
知らない	182	85.8%
計	212	100.0%



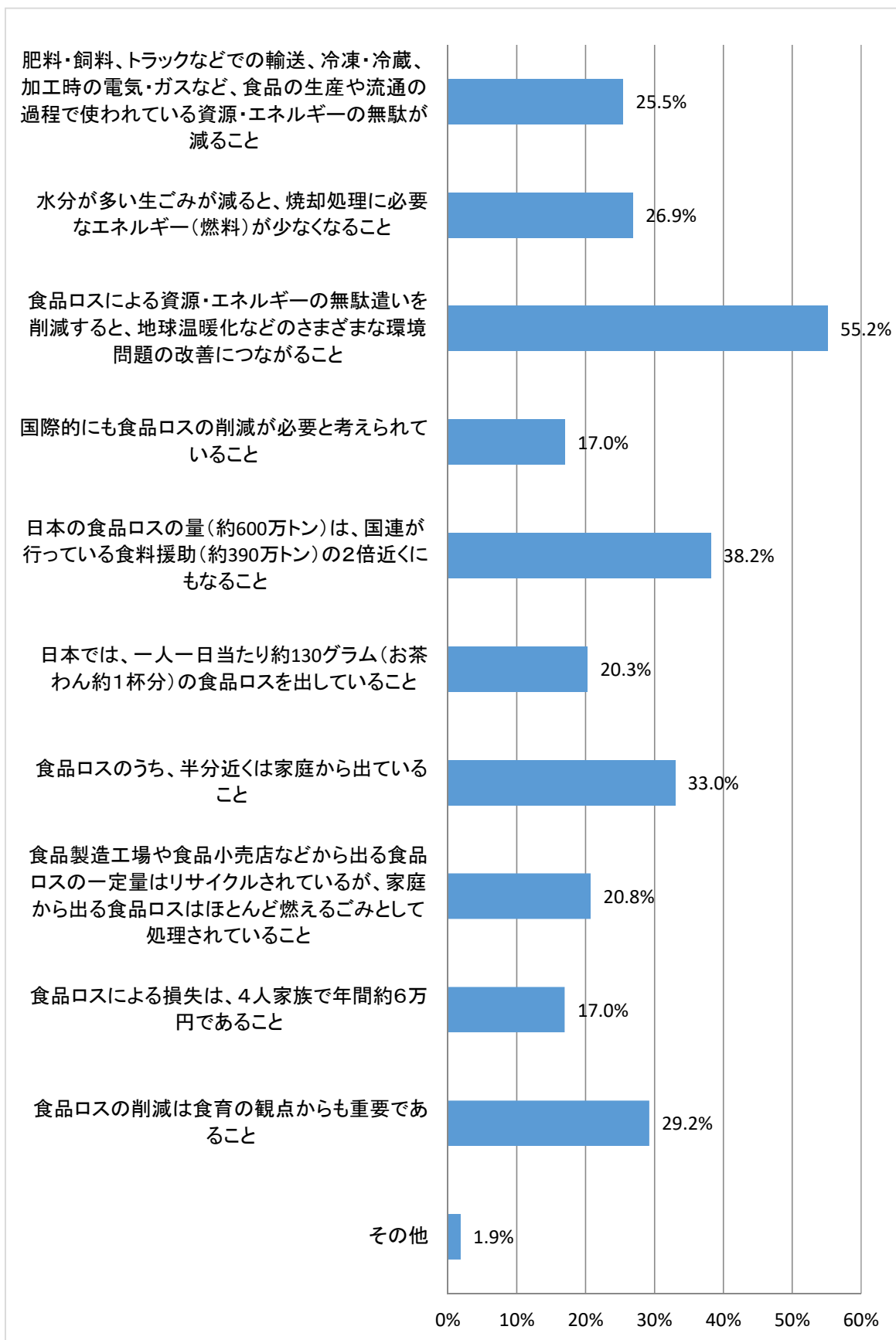
〔問8〕 会食時の料理の食べ残しの量は約2割との調査結果があります。会食の最初の30分間と終わりの10分間は料理を楽しむ時間とすることによって食べ残しを減らす「30・10（さんまる・いちまる）運動」という取り組みがありますが、ご存じですか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	43	20.3%
聞いたことはあるが、意味は分からない	21	9.9%
知らない	148	69.8%
計	212	100.0%



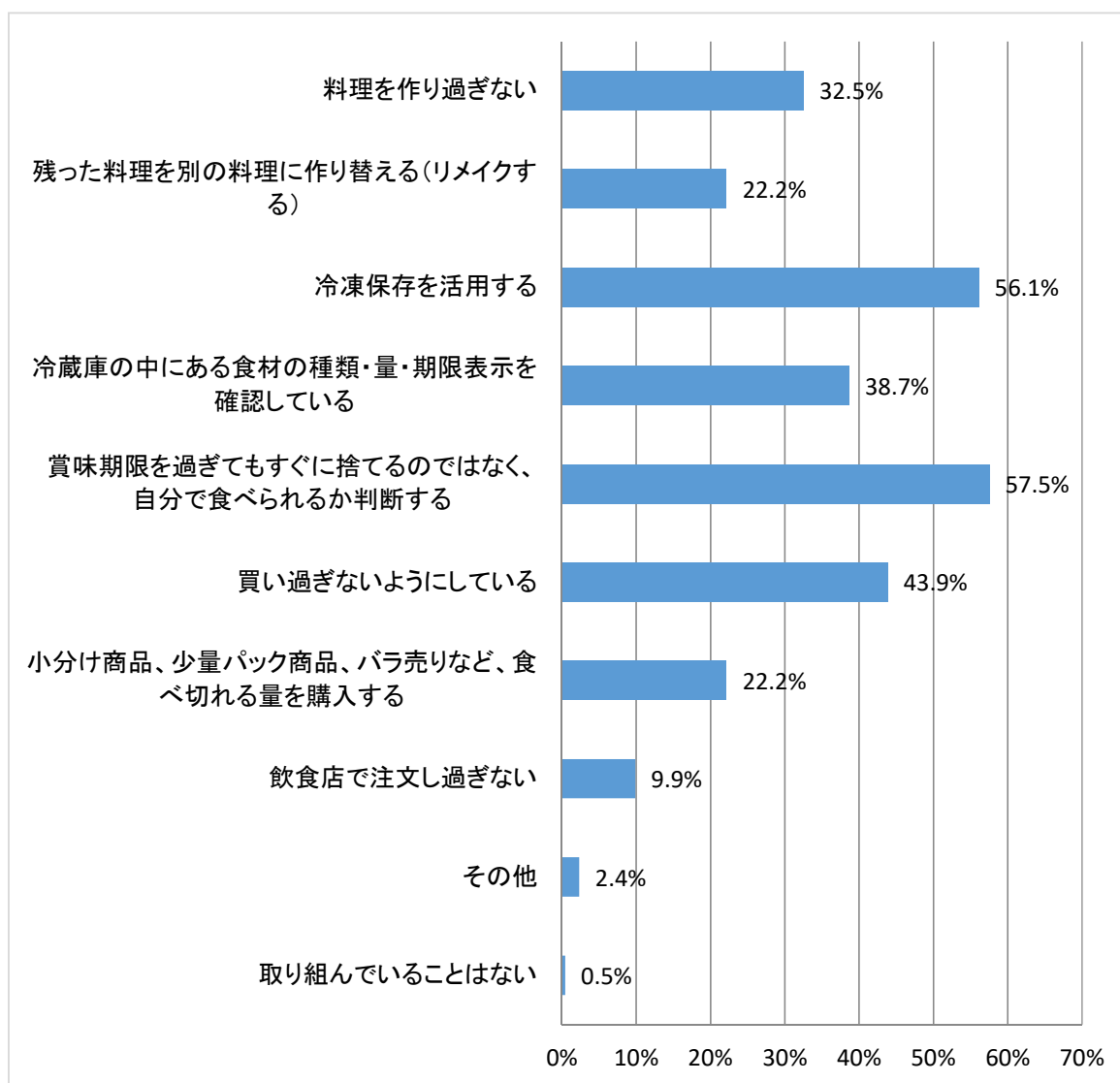
〔問9〕 あなたが「自分も食品ロスの削減に取り組まなければならない」と思う動機となるような情報はどんなものですか。主なものを3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 212人	
	回答者数	構成比
肥料・飼料、トラックなどでの輸送、冷凍・冷蔵、加工時の電気・ガスなど、食品の生産や流通の過程で使われている資源・エネルギーの無駄が減ること	54	25.5%
水分が多い生ごみが減ると、焼却処理に必要なエネルギー(燃料)が少なくなること	57	26.9%
食品ロスによる資源・エネルギーの無駄遣いを削減すると、地球温暖化などのさまざまな環境問題の改善につながる	117	55.2%
国際的にも食品ロスの削減が必要と考えられていること	36	17.0%
日本の食品ロスの量(約600万トン)は、国連が行っている食料援助(約390万トン)の2倍近くにもなること	81	38.2%
日本では、一人一日当たり約130グラム(お茶わん約1杯分)の食品ロスを出していること	43	20.3%
食品ロスのうち、半分近くは家庭から出ていること	70	33.0%
食品製造工場や食品小売店などから出る食品ロスの一定量はリサイクルされているが、家庭から出る食品ロスはほとんど燃えるごみとして処理されていること	44	20.8%
食品ロスによる損失は、4人家族で年間約6万円であること	36	17.0%
食品ロスの削減は食育の観点からも重要であること	62	29.2%
その他	4	1.9%



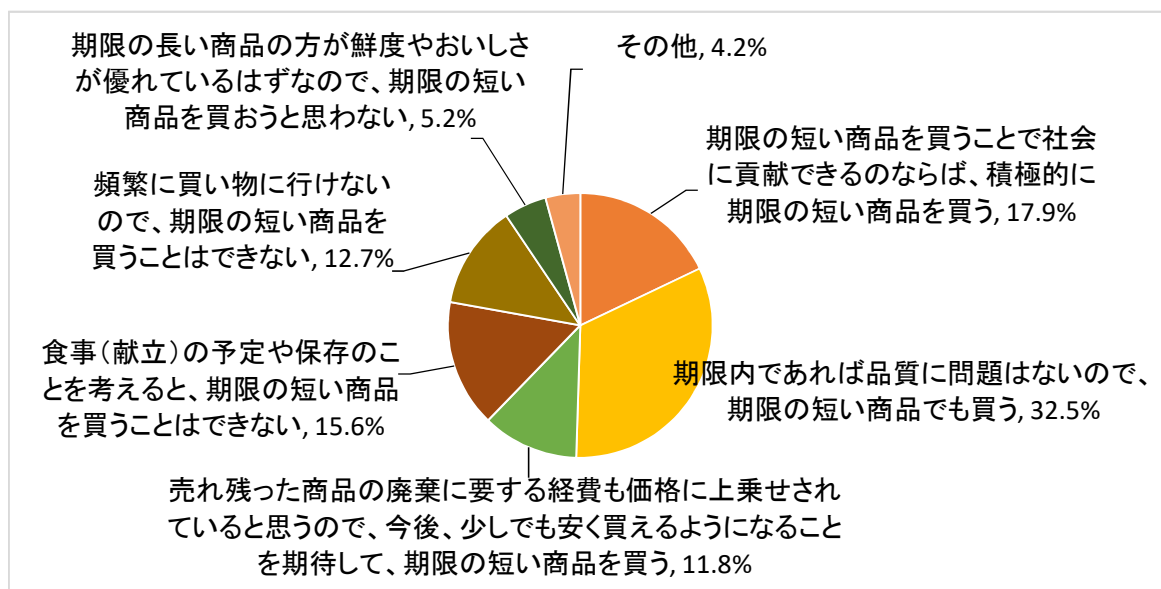
〔問10〕 あなたが食品ロスを出さない（食品を無駄にしない）ために取り組んでいることを3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 212人	
	回答者数	構成比
料理を作り過ぎない	69	32.5%
残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)	47	22.2%
冷凍保存を活用する	119	56.1%
冷蔵庫の中にある食材の種類・量・期限表示を確認している	82	38.7%
賞味期限を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	122	57.5%
買い過ぎないようにしている	93	43.9%
小分け商品、少量パック商品、バラ売りなど、食べ切れる量を購入する	47	22.2%
飲食店で注文し過ぎない	21	9.9%
その他	5	2.4%
取り組んでいることはない	1	0.5%



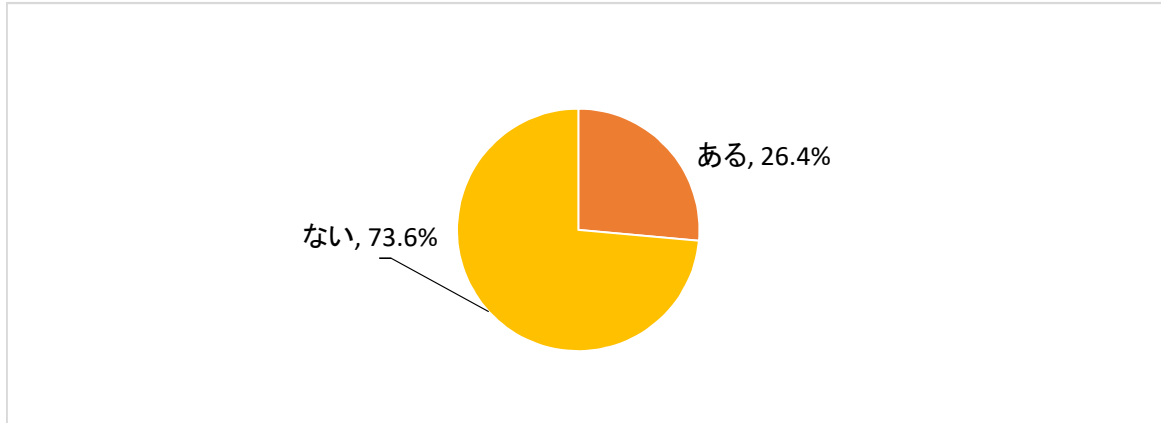
〔問11〕 食品を買う際に、期限（賞味期限・消費期限）が少しでも長い商品を買うと、期限の短い商品は売れ残って廃棄されてしまいます。多くの消費者が期限の短い商品を選択するようになれば、売れ残りが減り、社会全体として食品ロスを減らすことにつながります。このような現状や考え方を知った場合、あなたは期限が短い商品を買いますか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
期限の短い商品を買うことで社会に貢献できるのならば、積極的に期限の短い商品を買う	38	17.9%
期限内であれば品質に問題はないので、期限の短い商品でも買う	69	32.5%
売れ残った商品の廃棄に要する経費も価格に上乗せされていると思うので、今後、少しでも安く買えるようになることを期待して、期限の短い商品を買う	25	11.8%
食事（献立）の予定や保存のことを考えると、期限の短い商品を買うことはできない	33	15.6%
頻繁に買い物に行けないので、期限の短い商品を買うことはできない	27	12.7%
期限の長い商品の方が鮮度やおいしさが優れているはずなので、期限の短い商品を買おうと思わない	11	5.2%
その他	9	4.2%
計	212	100.0%



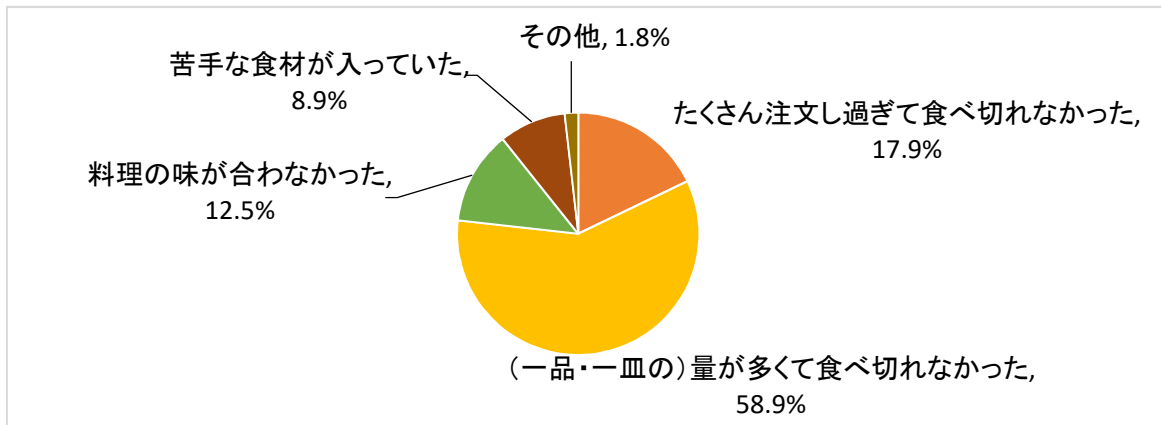
〔問12〕 外食時に食べ残すことがありますか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
ある	56	26.4%
ない	156	73.6%
計	212	100.0%



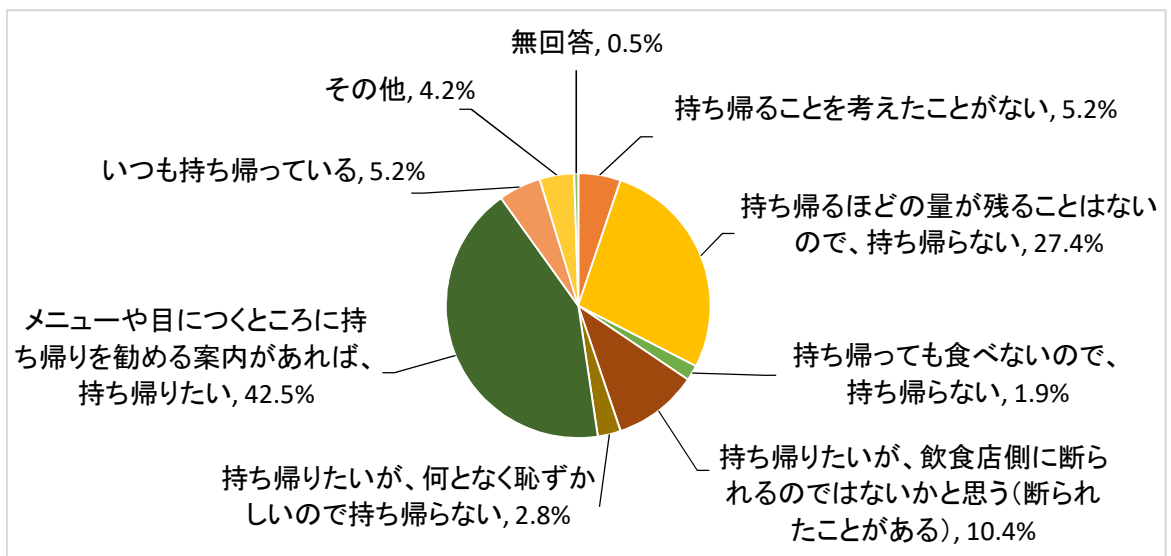
〔問13〕 問12で「ある」と答えた方にお聞きします。外食時に食べ残した理由として最も当てはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
たくさん注文し過ぎて食べ切れなかった	10	17.9%
(一品・一皿の)量が多くて食べ切れなかった	33	58.9%
料理の味が合わなかった	7	12.5%
苦手な食材が入っていた	5	8.9%
その他	1	1.8%
計	56	100.0%



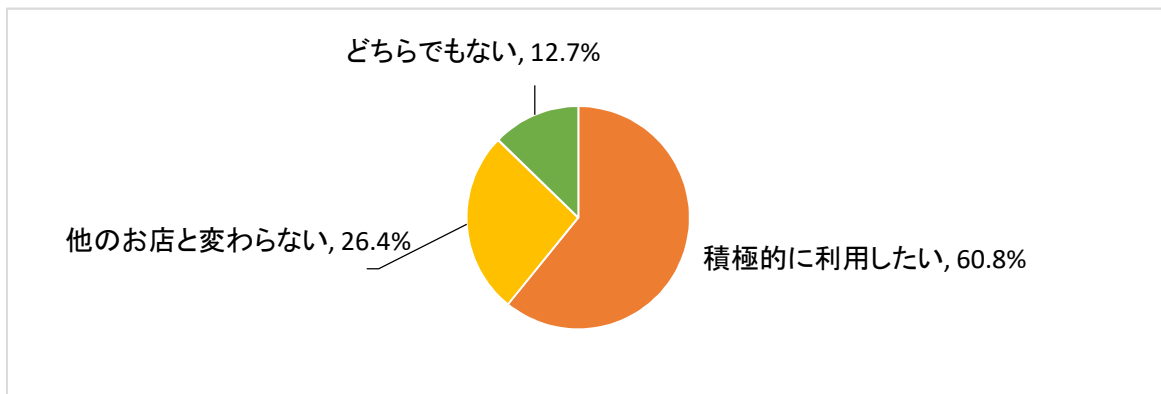
〔問14〕 飲食店から出る食品ロスを削減する方法の一つに食べ残しの持ち帰りがあります。食べ残しの持ち帰りについて、どう思いますか。1つだけ選んでください。なお、食べ残しの持ち帰りに伴う食中毒のリスクについては、持ち帰る側の自己責任が前提です。

選択肢	回答者数	構成比
持ち帰ることを考えたことがない	11	5.2%
持ち帰るほどの量が残ることはないので、持ち帰らない	58	27.4%
持ち帰っても食べないので、持ち帰らない	4	1.9%
持ち帰りたいが、飲食店側に断られるのではないかとと思う(断られたことがある)	22	10.4%
持ち帰りたいが、何となく恥ずかしいので持ち帰らない	6	2.8%
メニューや目につくところに持ち帰りを勧める案内があれば、持ち帰りしたい	90	42.5%
いつも持ち帰っている	11	5.2%
その他	9	4.2%
無回答	1	0.5%
計	212	100.0%



〔問15〕 県では、食品ロス削減に取り組む飲食店・宿泊施設・食料品小売店を「かわ食品ロス削減協力店」として認定・登録し、各店舗での取り組みを紹介しています。食品ロスの削減に率先して取り組んでいる飲食店や小売店などを積極的に利用したいと思いますか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
積極的に利用したい	129	60.8%
他のお店と変わらない	56	26.4%
どちらでもない	27	12.7%
計	212	100.0%

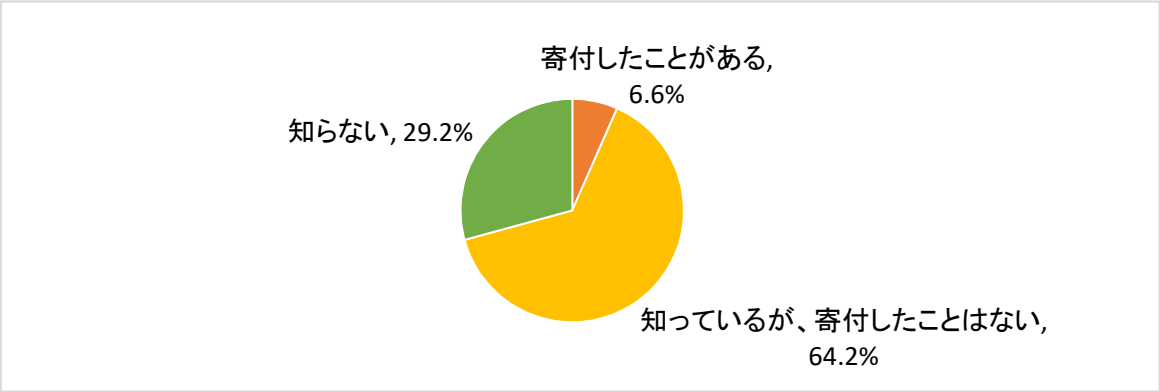


〔問16〕 食品ロス削減の取り組みとして、「フードバンク活動」(※1)や「フードドライブ活動」(※2)があります。これらの活動を知っていますか。1つだけ選んでください。

※1 包装の破損や印字ミス、賞味期限が近いなど、食品の品質には問題ないが、通常の販売が困難な食品・食材を事業者などから引き取って、福祉施設などへ無償提供する活動

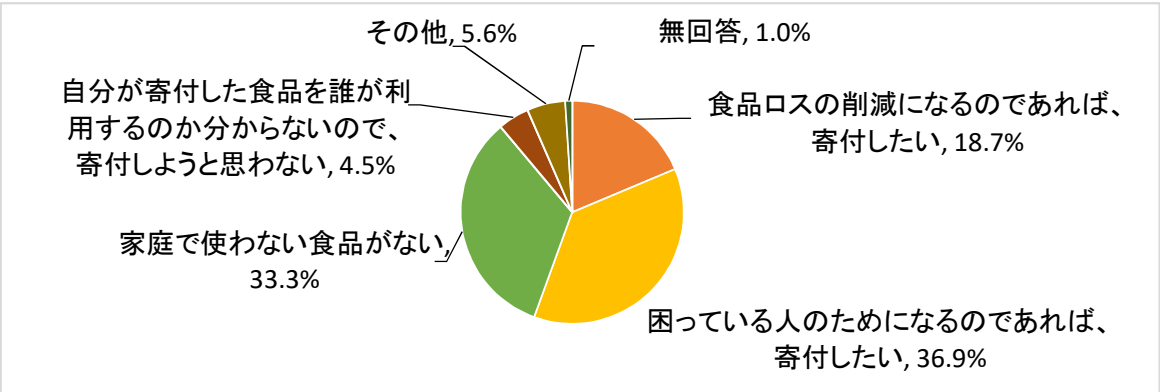
※2 家庭で余っている食品を持ち寄り、フードバンク団体を通じて、必要としている福祉団体や施設などに寄付する活動

選択肢	回答者数	構成比
寄付したことがある	14	6.6%
知っているが、寄付したことはない	136	64.2%
知らない	62	29.2%
計	212	100.0%



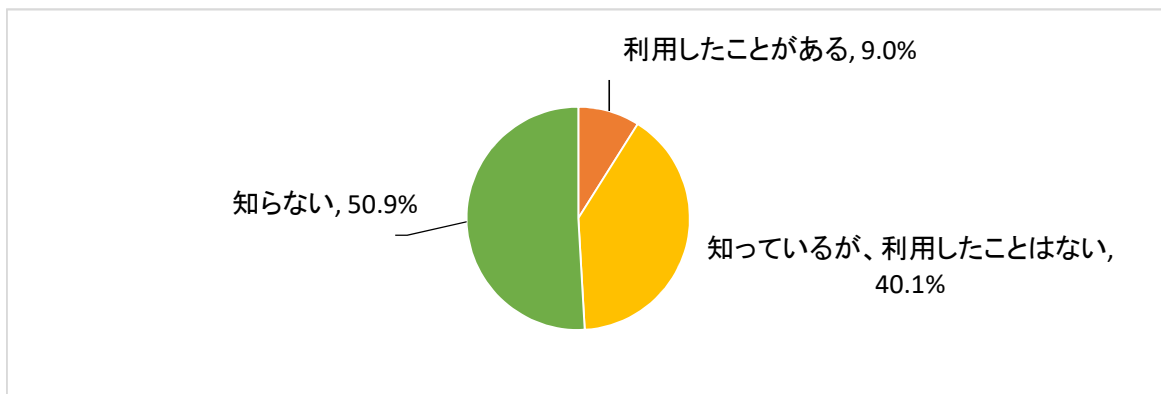
〔問17〕 問16で「知っているが、寄付したことはない」「知らない」と答えた方にお伺いします。このような活動について、寄付したいと思いますか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
食品ロスの削減になるのであれば、寄付したい	37	18.7%
困っている人のためになるのであれば、寄付したい	73	36.9%
家庭で使わない食品がない	66	33.3%
自分が寄付した食品を誰が利用するのか分からないので、寄付しようと思わない	9	4.5%
その他	11	5.6%
無回答	2	1.0%
計	198	100.0%



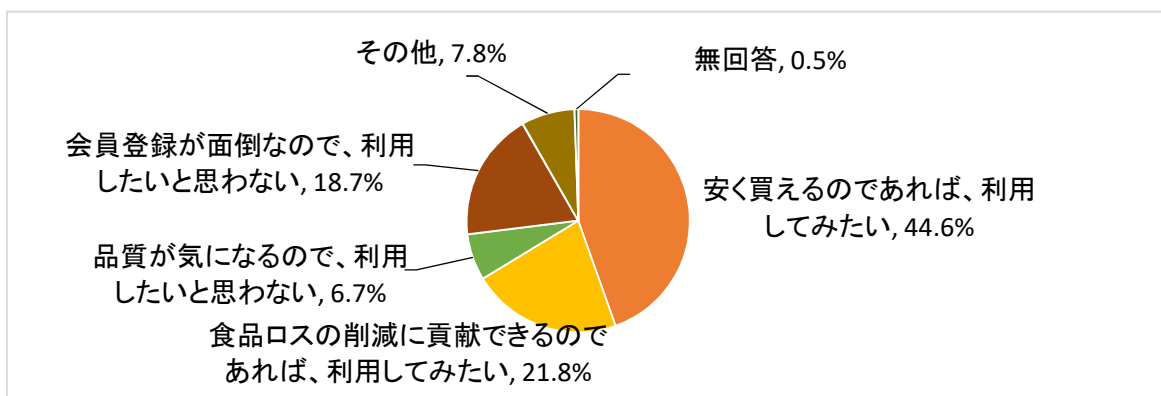
〔問18〕 規格外や包装の印字ミスなどの理由により、品質には問題ないが、通常の流通ルートで販売が困難な食品（いわゆる「訳あり食品」）を食品メーカーから買い取り、低価格で販売するインターネット通販サイトがあります。このようなサービスについて知っていますか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
利用したことがある	19	9.0%
知っているが、利用したことはない	85	40.1%
知らない	108	50.9%
計	212	100.0%



〔問19〕 問18で「知っているが、利用したことはない」、「知らない」と答えた方にお伺いします。このようなサービスについて、利用してみたいと思いますか。1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
安く買えるのであれば、利用してみたい	86	44.6%
食品ロスの削減に貢献できるのであれば、利用してみたい	42	21.8%
品質が気になるので、利用したいと思わない	13	6.7%
会員登録が面倒なので、利用したいと思わない	36	18.7%
その他	15	7.8%
無回答	1	0.5%
計	193	100.0%



※ 表中の構成比は、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。